

2021年7月

各位

室蘭信用金庫

室蘭信用金庫の2020年度「地域密着型金融推進計画」の進捗状況

当金庫では、地域金融機関の本質的な機能である『事業資金貸出機能強化』を恒久的な目標として掲げ、2008年2月に「地域密着型金融推進計画」を策定し公表致しました。具体的には、次に掲げる4つの柱に沿って積極的に取り組んでおります。

【4つの柱】

1. 事業先への付加価値の高いサービス（各種補助金申請支援等のコンサルティング活動）や情報の提供を実施する。
2. 本部の営業店相談窓口としての機能を強化し、営業店と一体となった業務推進を実現する。
3. 本部で蓄積した情報やノウハウを顧客に提供する機能を強化する。
4. 外部団体と連携し、地元産業の中心である製造業に対し新たな支援策を検討・実施し、地元経済の活性化を図る。

【地域密着型金融の推進に関する主要計数】

	2020年度実績
2020年度 補助金等申請支援件数①	8件
補助金等採択件数②	4件
採択率(②÷①)	50%
専門家派遣支援件数	14件
経営支援に関する事業計画	10件
新型コロナウイルス感染症対応支援件数	1,475件

(補助金等申請件数の内訳:小規模事業者持続化補助金 6件、その他2件)

(経営支援に関する事業計画の内訳:先端設備導入計画 3件、特例承継計画 6件、その他1件)

(新型コロナウイルス感染症対応支援件数の内訳:実質無担保無利子融資 1,350件、固定資産税軽減申請支援 125件)

【お問い合わせ先】 総務企画部 TEL(0143)44-3537



ハートビートのカタチ

室蘭信用金庫

【2020年度の地域密着型金融推進計画の具体的な取組み】

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

項目及び目標	主な具体的取組策	進捗状況
<p>成長段階に応じた適切なサポート支援を行う。</p> <p>(1) 情報支援力の充実および外部ネットワークとの協調体制の活用により創業・新事業・事業承継への取り組みを強化する。</p>	<p>(1) 集積した情報を活用して、業種別・部門別情報を本部内で作成し、取引先・営業店のサポートに活用する。</p>	<p>(1) 2013年度から、当金庫イントラネット内に各種補助金、税制、専門家派遣、販路開拓、経営力強化保証などの制度情報を掲載し、営業店を通じてお取引先への付加価値提供ツールとして活用しております。</p>
<p>経営改善支援</p> <p>(1) 要注意先以下の取引先の経営改善に引き続き積極的に関与する。</p> <p>(2) コンサルティング能力の強化を図る。</p>	<p>(1) 経営改善対象先を選定し、経営改善の進捗状況について営業店ヒアリングおよび本部のサポートを実施する。</p> <p>(2) 国、地方公共団体との連携による中小企業施策の活用を図る。</p>	<p>(1) 2020年度においては、151先をランクアップ活動対象先（経営改善対象先）として選定し、事業計画書策定を通じた経営課題解決などをご支援させていただきました。同活動を営業店の業績評価対象としており、当金庫全体で取り組んでおります。</p> <p>(2) 2020年度は補助金申請支援・専門家派遣支援など32件の支援を実施し、既存のお取引先のみならず、新規のお客様に対しましてもコンサルティング活動を実施しております。また、新型コロナウイルス感染症対応として実質無担保無利子融資1,350件、固定資産税軽減申請125件の支援を実施しました。</p>

項目及び目標	主な具体的取組策	進捗状況
<p>事業再生</p> <p>(1) 企業価値が保たれているうちの早期再生に取り組む。</p> <p>(2) 中小企業再生支援協議会の一層の活用を図る。</p>	<p>(1) 企業価値を維持し、再生を果たすため、北海道しんきん再生ファンド等の活用を図る。</p> <p>(2) 裁判外紛争解決手続きを活用した特定調停手続きの利用について検討する。</p>	<p>事業再生支援の手法として、中小企業再生支援協議会の活用を行っており、企業再生の取り組みを進めています。</p>

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめとした中小企業に適した資金供給方法の徹底

項目及び目標	主な具体的取組策	進捗状況
<p>不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の徹底。</p> <p>(1) 事業価値を見極める融資手法の取組みを継続して行う。</p> <p>(2) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の徹底を継続する。</p>	<p>(1) 多様な資金需要に対応するため、専担者による新たな業種や地元産業の中心である製造業について調査・研究を行い審査能力の向上に努める。</p> <p>(2) 企業の技術力を的確に把握するため外部支援機関との連携の強化。</p>	<p>営業店と外部支援機関（室蘭テクノセンター・北海道事業引継ぎ支援センター等）と連携し、お取引先の補助金申請支援や専門家派遣を通じて経営課題解決などをご支援しております。合わせて営業担当者のOJTを実施し、事業性を見極める目利き力とコンサルティング能力の向上に努めております。</p>
<p>中小企業に適した資金供給手法の多様化。</p> <p>(1) それぞれのお取引先の状況や規模に適した最適な融資商品の提供を行う</p>	<p>(1) 動産担保の活用や特定社債（私募債）を利用した融資商品の開発・推進。</p>	<p>(1) 2017年2月、お取引先が保有する動産に対して、譲渡担保契約を取り交わし融資する商品「動産担保融資商品」を発売しました。また、特定社債（私募債）を利用した独自の融資商品として「むろしん特定社債融資商品」を導入しております。</p> <p>動産の評価やモニタリングを通して、お取引先の営業活動を動的に把握していくことで、コンサルティング機能強化を図り、お取引先の資金繰り安定を図って参ります。</p>

3. 地域の情報収集を活用した持続的可能な地域経済への貢献

項目及び目標	主な具体的取組策	進捗状況
<p>地域活性化につながる多様なサービスの提供</p> <p>(1) 地元の身近な存在として、地元経営者・住民向けに経済状況や生活情報などの提供を行うとともに交流を深める。</p>	<p>(1) 集積した情報を利用して、業種別・部門別情報を本部内で作成し、取引先・営業店のサポートに活用する。</p> <p>(2) 営業店・本部が一体となり当金庫が所管する地元経営者・住民による会員組織を運営・サポートする。</p>	<p>(1) 当金庫イントラネット内に『お役立ち情報』を新設し、公的支援施策やM&A・ビジネスマッチング情報、好事例集などを営業店へ発信。最新の情報を届けることで、最適なお客様支援が可能となるよう営業活動に活用しております。</p> <p>(2) 若手経営者の会員相互の交流機会の創出と啓発を目的とした「むろしん絆の会」を2019年3月設立しました。過年度においては講演会等を開催しておりますが、2020年度は新型コロナウイルス感染症対策のため開催できておりません。</p>
<p>地域経済の活性化につながる支援策の検討・実施</p> <p>(1) 外部団体と連携し、地元企業・地域経済が活発化するような支援策を模索する。</p>	<p>(1) 地元産業の中心である製造業に対し、室蘭テクノセンター様等外部団体との連携のもと、新たな支援策の検討・実施。</p>	<p>(1) 当金庫が出資して設立した「一般財団法人 ものづくり基金」において各外部機関（室蘭市、室蘭テクノセンター、室蘭工業大学など）と連携のもと、室蘭地域のものづくり企業の発展を目的とした①補助金事業と、②小学生向けのプログラミング教室等を実施して参りました。</p> <p>2020年度は信金中央金庫が設立した「SCBふるさと応援団」の寄付事業に、室蘭市と当金庫が連携して応募し、信金中央金庫から室蘭市に1千万円が寄付されました。寄付金は室蘭市内の製造業の技術力向上や生産性向上支援等に活用されます。</p>